

心臓ドック

心臓には心臓に酸素や栄養を運ぶ冠動脈という血管があります。この冠動脈は動脈硬化により細くなったり詰まったりすることがあります。こうして起こる病気が狭心症や心筋梗塞です。心臓ドックはCTによるX線撮影を行い、冠動脈の内径や動脈硬化による冠動脈壁の石灰化を評価する検査で、狭心症や心筋梗塞などの冠動脈疾患のリスクを事前に発見することができます。

こんな方にお勧めします

- 坂道や階段等で息切れ、胸の苦しさがある方
- ストレスが溜まっている方
- 高血圧や高脂血症、高尿酸血症のある方
- 心臓に不安のある方
- タバコを吸う方
- 狭心症や心筋梗塞の既往が血縁者にある方
- 肥満気味である方

検査方法

CT装置のベッドに横になり、CT撮影を行います。その際に、血管がよく見えるようになる造影剤という注射を使用します。また、検査中は約15秒の息止めを数回行い撮影し、検査にかかる時間は20分～30分程度です。

注意事項

心臓ドックは造影剤という注射を使用する検査の為、腎臓の機能が低下している方や糖尿病のお薬を飲まれている方、心臓疾患のある方及び喘息のある方は検査を受診することができません。

また、人間ドックや問診の結果より、検査担当医師の判断にて、当日検査中止となる場合があります。

造影剤とは

検査に使用する造影剤はヨード系造影剤というお薬です。

このお薬はより正確な診断をするために使用しますが、下記に示すような副作用が起こる可能性があります。

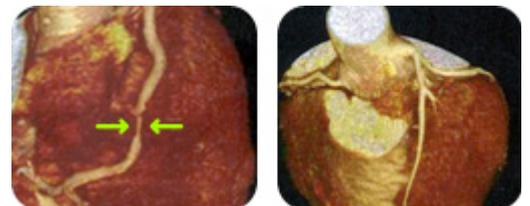
	症状	発生頻度
軽い副作用	吐き気、動悸、頭痛、かゆみ、くしゃみ、発赤など	5%以下(100人に5人以下)
重い副作用	呼吸困難、意識障害、ショックなど	約0.004%(約2万5千人に1人)

その他、検査終了後から数日にかけて発疹や吐き気、むくみ、めまい等の症状がでる遅発性副作用もあります。また、症状や体質によっては約0.00025%(約40万人に1人)、死亡する場合があります。

当センターでは、これらの副作用や症状に対して、必要な体制を整えています。



《CT装置》



血管が狭くなった
心臓CT画像

正常な心臓CT画像

《心臓解析画像》